

高等/

地方裁判所

番号 _____

原告
被告

- 弁護士があなたの代理として努めるのであれば、直ちにこの書類を弁護士に渡すこと。
- これらの質問に答える前に注意書きをよく読んでおくこと。
- 黒いインクで書き記すこと。

1 あなたは離婚のための請願書をこの書式と一緒に受理しましたか?	
1A イングランド又はウェールズ以外でこの結婚に関する内容で手続きが継続しているか、或いは、それによって結婚にある有効権、持続している事に影響しますか? (a)から(e)は1Aの答えが「はい」の人だけ答える。 答えが「いいえ」だったので省略。	
1B 現在 (a) 居住している国は? (b) 定住している国は? 国籍は?	
1C 原告の離婚請願書に述べられている離婚申し立ての理由に同意しますか? 同意しないのであれば、その理由を記述して下さい。	
2 請願書をいつ、どこで受領しましたか?	
3 あなたは請願書における被告ですか?	
4 この訴訟事実について抗弁するつもりですか?	
5 あなたは判決が下されることに同意しますか?	
6 被告と合意の上、2年の別居が行われたことに基づいて離婚仮判決が交付された場合、あなたは法廷に離婚の後で財務状況を考慮してほしいと申請する予定ですか?	
7 訴訟事実に対して抗弁しないとしても法廷手続きの費用を払う事に反対しますか?	
8 子供の養育手配陳述書のコピーを受け取りましたか? (a) 子についての協定が記述されている書類を受け取りましたか? (b) 子についての協定の書類に記述されている日付はいつですか? (c) 子に関しての協定の書類に提案されている内容に同意しますか? もしいいえの場合、協定に対して現在のあなたの考えと子に関する協定の提案を記述し提出して下さい。	
9 (重婚の場合の離婚手続きの場合)、原告の他にこの請願書に含まれていない妻、又は夫がいる場合、その妻または夫の名前と住所、又結婚日と婚姻地を述べてください。	

- 10 (a) ●5番目の質問に「はい」と答えた方
或いは
●8番目の質問に「はい」と答えた方
或いは
●あなたの代理で努めている弁護士がいない方
これらの3つの項目のどれかに当てはまる方は下記を書き込んで下さい。

署名 :
法的手続きのための住所 :

- 10 (b) この事柄に関して被告人の弁護士として事務代行致します。

署名
日付
法的手続きのための住所 :

注意事項 : 依頼人が5番目或いは8番目(c)の質問に「はい」と答えた方は、
依頼人の署名と記述した日付も10(a)に書き込んでください。

翻訳者氏名 : _____

住所 : _____

電話番号 : _____